

健康応援隊!

「流行」には、のらないで。

一昨年の新型インフルエンザの大流行を受け、この冬、厚生労働省が右記をスローガンとして、予防を呼びかけています。町でも昨年10月から高齢者や身体障害者手帳をお持ちの方等を対象にインフルエンザの予防接種に対し、助成をしているところです。

今年も、季節性インフルエンザ、新型インフルエンザのいずれも流行の可能性がります。新型インフルエンザが子どもや成人を含め、広い年齢層で流行するのに加え、季節性インフルエンザは温度が低く、乾燥した12月から3月に流行し、特に高齢者が重症化しやすい傾向があります。そのため、全ての年齢の方がインフルエンザの予防をしていただく必要があります。○インフルエンザはどうやってうつるの?

①飛沫感染 感染している人のくしゃみや咳で出るしぶきを吸い込むことによりうつります。くしゃみや咳をあびる距離(二メートル程度)にいる人は感染の危険が高くなります。

予防が大切 インフルエンザ

②接触感染 感染している人のつばや鼻水が手から手へ、またはドアノブなどを介して手に付着し、付着した手で口や鼻、目などの粘膜に触れることでうつります。

○インフルエンザの予防法

マスクをつけずに咳やくしゃみをしている人のそばにいたり、そのしぶきを吸い込んで感染する可能性があります。流行している時期には人ごみには行かないことが予防の基本です。また、外出後は付着したウイルスを洗い流すよう、こまめな手洗いとうがいが必要で、手を洗うときは石けんを使って15秒以上、指の間や手首まで念入りに洗いましょう。

年末年始を故郷で過ごした方、旅行された方、様々に新年を迎えたことと思いますが、帰省や旅行等の移動によりインフルエンザが全国的に広がるのも一つの原因といわれています。バランスのとれた食事、十分な休養をとり、体調を整えるとともに、予防が大切な時期です。

(健康福祉課 保健師)

学校コーナー

五霞町のPRソングをつくる

五霞東小学校



5年生の音楽の授業では、日本の民謡や子守歌などを学習する単元があります。その発展的な学習として、今回『五霞町のPRソング』づくりを行いました。

音楽づくりに入る前に、まずは、日本に古くから伝わる音楽について学習しました。「木曾節」や「花笠音頭」、「沖縄民謡」や各地の「子守唄」などを鑑賞した子どもたちは、地域の特徴を用いた歌詞や、合の手など日本の音楽の特徴に興味津々、日本の音楽の伝統やよさについて体感することができました。そして、次に、五霞町にもその特徴を詠った「五霞音頭」があることを話し、鑑賞したり、五霞町新幸谷在住の宮内みや子さんをお招きして踊りを教えていただいたりしました。

『五霞町のPRソング』をつくる活動では、五霞町の特徴を子どもたちと話し合い、グループごとに次のような歌詞を考えました。

道の駅グループ

よっていく 必ず五霞の道の駅
よってってそこは笑顔のみなもとさ

江川の天神様グループ

にぎわうぞ 夏に冬に お祭りだ
静かだな みんなを見守る 天神様

緑豊かな五霞グループ

こつちには 利根川田んぼ 畑に緑
あつちには 富士に筑波に 関宿城

五霞の歴史グループ

貝塚 水塚 古墳にお寺
知恵がつながる 五霞歴史

米づくりグループ

米づくり 朝から晩まで 大変だ
おいしいな 笑顔のみなもと 五霞の米

このような歌詞を考え、そのあとにリズムや音をつけて音楽をつくる活動を行いました。子どもたちは、「道の駅のにぎわう様子を表現したい」とか「天神様のお祭りにぎやかさといつもの静けさを表現したい」、「緑に囲まれた美しい風景を表現したい」などと音楽に五霞町へのたくさんの思いを込めて音楽づくりに励んでいました。

はじめは、日本の音楽や五霞音頭を知らなかった子どもたち。鑑賞や踊り、音楽づくりなどのさまざまな活動とおして、子どもたちは日本の音楽のよさや伝統を守り続けていくことの大切さだけでなく、五霞町のよさや郷土への愛を感じることができました。

ご意見・ご要望をお待ちしています。

あて先
●町長(直通)
FAX (84) 1550
●企画財政課広報担当
☎(84) 1111(内線221)



1月の納税

納期限 1月31日(月)です

国民健康保険税	7 期	町民税務課	税 務	G 内線254
後期高齢者医療保険料	7 期	町民税務課	税 務	G 内線253
保 育 料	1 月分	健康福祉課	社会福祉	G 内線237
学 校 給 食 費	10 期	教育委員会	学校教育	G 84-1462

人口と世帯 (12月1日現在)

総人口	9,511人(- 5)
男	4,773人(+ 3)
女	4,738人(- 8)
世帯数	3,045世帯(+ 2)
※()内は前月比	